

平成23年2月17日

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者会

「地域活性化のための鳥取自動車道の利活用に関する検討委員会」 (第2回)の開催について

鳥取河川国道事務所は、サービスエリア・パーキングエリアなど休憩施設が高速道路本線に並設されていない鳥取自動車道の利便性向上を図るとともに、沿線の「道の駅」や観光資源等の活用方策を検討し、沿線の地域活性化につなげていくことを目標として第2回検討委員会を下記のとおり開催します。

○日 時：平成23年2月21日（月） 10：00～11：30

○場 所：鳥取温泉・ホープスター鳥取 7F 会議室「銀河の間」

※取材について

当日は報道席を設けており、受付を通じてご入場いただけます。本委員会の資料は会場にて配布します。なお、会議の傍聴は可能ですが、撮影は会議冒頭部分のみとします。

また、会議後、委員会資料を鳥取河川国道事務所ホームページにて公開します。

○参考資料

①議事次第、②第1回委員会の概要

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所
TEL 0857-22-8435（代表）

副所長（道路） 角田 真一

【担当】 調査設計課長 姫村 幸造

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

地域活性化のための鳥取自動車道の利活用に関する検討委員会

第2回 委員会

日時:平成 23 年 2 月 21 日(月)10:00 ～11:30

場所:ホープスターとっとり 7階 銀河の間

< 議 事 次 第 >

1. 主催者挨拶
2. 委員会規約について
3. 第1回委員会の議事内容について
4. 休憩機能補完のための本線外施設（道の駅等）への誘導について
5. 沿線地域との連携による観光資源等を活かした鳥取自動車道の利活用方策
6. 今後の進め方

1. 委員会の検討概要

【設立趣旨】

◇鳥取自動車道は無料の高速道路で各インターチェンジでの乗り降りは自由であるが、コスト削減の観点から高速道路にサービスエリア・パーキングエリアが設置されておらず、長距離利用者へのサービスが必ずしも十分とは言い難い状況である。

◇沿線の町では、従来から街道や宿場町を活かして、地域活性化に取り組んできているところであるが、鳥取自動車道のインターチェンジから沿線の各種施設や街道の宿場町等への適切な案内や地域資源への周遊を促す沿線地域の連携が求められている。

◇「地域活性化のための鳥取自動車道の利活用に関する検討委員会」は、新直轄方式で整備された鳥取自動車道の特性を踏まえ、沿線の「道の駅」や観光資源等の活用方を検討し、道路利用者の利便性の向上および沿線の地域活性化につなげていくことを目標とする。

委員会名簿

| 委 員 | | 備 考 |
|-------------------------|-------|-----|
| 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授 | 石田 東生 | |
| (財)とっとり地域連携・総合研究センター理事長 | 道上 正規 | |
| 鳥取大学大学院工学研究科教授 | 谷本 圭志 | |
| 鳥取県 統轄監 | 河原 正彦 | |
| 岡山県 土木部長 | 大塚 俊介 | |
| 兵庫県 西播磨県民局長 | 小畠 寛 | |
| 鳥取市長 | 竹内 功 | |
| 岩美町長 | 榎本 武利 | |
| 八頭町長 | 平木 誠 | |
| 若桜町長 | 小林 昌司 | |
| 智頭町長 | 寺谷誠一郎 | |
| 美作市長 | 安東 美孝 | |
| 西粟倉村長 | 道上 正寿 | |
| 佐用町長 | 庵谷 典章 | |
| 因幡街道交流会議 会長 | 長尾 裕昭 | |
| 全国街道交流会議 専務理事 | 古賀 方子 | |
| 国土交通省 中国地方整備局 道路部長 | 伊藤 正秀 | |
| 国土交通省 鳥取河川国道事務所長 | 田中 衛 | |

2. 主な検討内容

休憩施設等への案内表示の改善

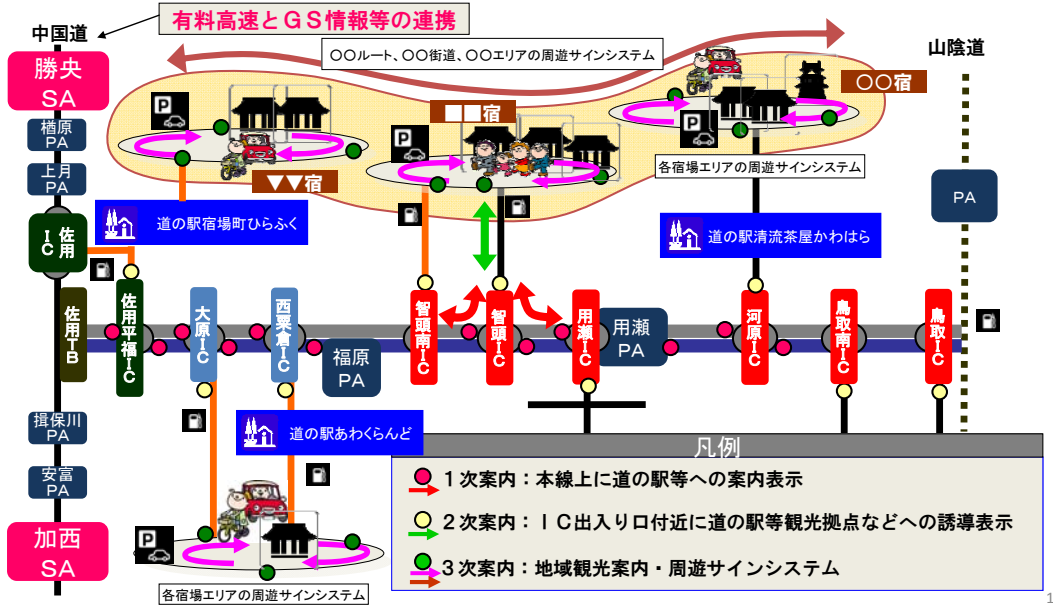
【対応方針】 コスト縮減の観点から削減されたサービスエリア・パーキングエリアの機能を補完するため既存の「道の駅」等の休憩施設への誘導を検討



総合的な案内サイン

【対応方針】 休憩施設への案内や素通りされないための対策として総合的な案内サインを検討

・ICから沿線観光地(周遊ルート)を案内



共通のロゴマークや地図と連携した標識

【対応方針】 標識だけでは提供できない情報を統一したロゴマークやマップ等で提供することを検討

事例：大山パークウェイ・美保湾パークウェイ

